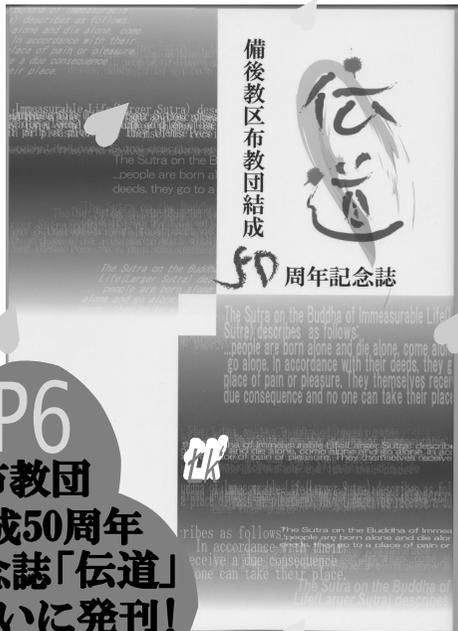


備後教区報

E-MAIL: paper@bingo.gr.jp

発行所
〒720-0052
福山市東町 2-4-5
本願寺備後会館内
教区報専門委員会
TEL(084) 924-5759
FAX(084) 931-9323

発行人
教務所長 高田英彦



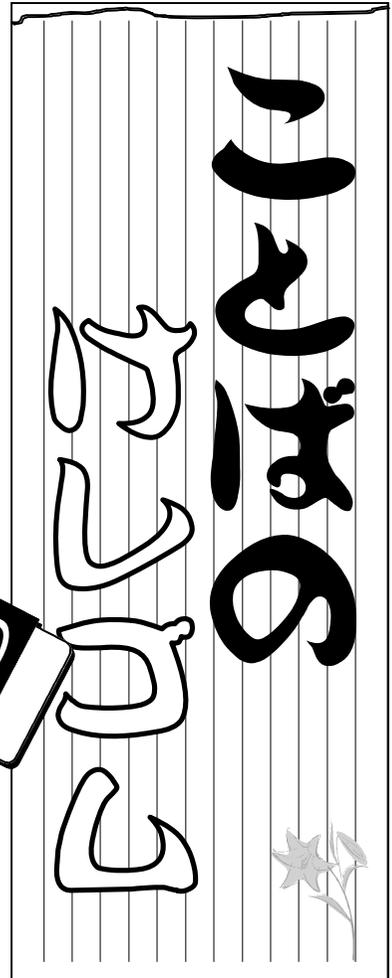
P4
伝道を
テーマに
僧侶研修会

P6
布教団
結成50周年
記念誌「伝道」
ついに発刊!

備後教区に
ホームページ
開設!!
P10

おもちゃサロン
はじめました
P9





書店でこんな詩に出会いました。この詩は、なかのひろ君という小学校三〜四年生位の子が書いた詩です。『ことばのけしゴム』という題がついていました。

えんぴつで かいた字は けしゴムで きえる
 こくばんに かいた絵も こくばんふきで けせる
 口からでてしまった ことばは けす けしゴムないんだね
 とりだせないんだね きみの耳にささった ぼくのことば
 わすれられないよ ぼくのむねにささった きみの目
 ことばをけす けしゴム あつたらなあ

いじめや自殺の問題が大きく報じられる中、考えさせられる詩でありました。私たちが知らず知らずのうちに、まわりの方達を傷つけていることが如何に多いことか。それさえも気づかないで生活しています。さて、お経を頂きますと、生



きていくうえで大切な事柄が多く説かれています。どのこと一つをとっても大事なことからあります。私達に最も身近なお経の「阿弥陀経」には、いく種類かの鳥が出てまいります。みんな大変綺麗な鳥であります。その中

で一羽の聞きなれない鳥の名前が出てまいります。その鳥は、「共命(グミョウ)鳥」であります。「共命」とは、「命を共にする」と書きます。この鳥には、悲しいお話が、仏典の物語として、古来より語り継がれております。この鳥は、体がひとつで、頭が二つあります。しかし他の鳥とは、全く比べものにならないほど美しい羽根を持った鳥で、鳴き声も他に類をみないほどきれいな声でなき、空を舞う姿は殊のほか美しく、いつもまわりから讃えられることを、大変誇らしく思っております。それほどに美しい鳥であります。ある時、この鳥はふと考えました。もし、もう一方の自分がいなくなつたならば、この世で



備後教区教務所長
高田英彦

自分が一番になると考え、食事をとるときに、もう一方の自分にそつと毒の入つたものを与えたさうです。でも頭が二つであつても体が一つであつた為に、その鳥は、死んでしまつたというのであります。悲しい物語ですが、お経の中に出てくる物語は、色んな意味で、多くのことを私たちに語りかけています。それは、私達への戒めや警鐘であります。他を省みることがない自己中心的なものの考え方は、まわりのみならず、果ては自分自身をも傷つけることになると。それは人間関係のみならず、環境問題や、私達身のまわり総てにつながる事柄であります。今一度、この物語が語っている事を考えてみたいものであります。

坊守探訪

Vol.18

芦田組慶照寺

田坂ヨシ江さん



今回訪問させていただいたのは、芦田組「慶照寺」。

現在、保存地区として指定される付近一帯は昔、石見銀山の通り石州街道の出口にあたり門前町として賑わっていたそうです。そんな中、周囲の人々は子どもたちが「ええもんちようだい!」とくずる度に、「慶照寺へ行きなさい、慶照寺のええもんへ行きなさい」といつてきたとか。

昔のお話を聞かせてもらえました。毎日、元気な子どもたちの声が響いていたのではないかと思います。実際、その門には一刀彫の龍が彫り込まれており、境内に遊びにくる無邪気な子どもたちを見守っていたのではないのでしょうか。始めにこういった昔話を聞かせていただいた、私の緊張もほぐれてしまいました。ありがとうございます。

さて、今回お忙しい中お話を聞かせていただき、一番感銘を受けたのが毎年九月に行っていたという「菊一座」です。

その名の通り、あらゆる種類の菊を境内中所狭しと飾り、ご門徒さん達にお寺に来て楽しんでもらう慶照寺さんならではの行事だとの事なのですが、菊の鉢の数はなんと八百鉢、三百種もあったとか。この数にも驚きましたが、これだけの菊をすべて慶照寺さんで栽培されていたというのには頭が下がります。

一本一本丹精込めて世話をするという事はとても言葉だけでは言い表せないと思います。

始めは趣味で育てはじめた物ですが、どんどん数が増え、「菊一座」として門徒さん達に公開、またシーズンには道行く人にも見てもらうため、ライトアップしてこ

られたそうです。そうするうちに、最初は家族だけで、必死に世話をしてきた菊ですがこの「菊一座」を楽しみにする門徒さんの助けが得られるようになってきました。菊が折れないように補強するための針金を来年度の為にと、一つ一つ伸ばして元の状態にしてくれる方々(八百鉢分ですから、針金の量も半端な数ではありません)、境内の菊の配置などを進んで協力してくれるようになってきたのだそうです。

また、ライトアップしているの普段は何となく近寄りたいたい寺院に気軽に足を運べていたのではないのでしょうか。

残念ながら、この「菊一座」は一昨年第三十回を持って終了してしまいました。この行事を始めて以降、お寺の行事に積極的に参加して下さる方が増えたそうです。まさに「菊でつながるご縁」といえるでしょう。

そして、三十年間家族全員で苦勞して世話をしてきた菊達は慶照寺さんの家族の一員だったといえると思います。

「菊一座」が終了した今でも、月ごとの例会や行事、そしてそれらをまとめた寺報の発行など、大忙しの毎日だそうです。このご縁はそんな毎日を助けてくれてい

るのではないかと、しみじみと感じました。

ご縁とはどこで繋がるのか明確なものではありませんが、こういった形もあるものなのですね。ただ菊があるだけではなく、1年中世話をし、やっと咲かせるまでの過程を支えてきた坊守さんや、家族の皆さんの姿を菊が代弁し、ご縁を作ってきたのではないかと思います。

日々の喧騒に追われて目の前の事しか目に入らない毎日を過ごしている私ですが、ヨシ江坊守にお会いしてこのお話を聞かせていただき、大変心温まる思いでした。



教区会報告 教区会議長 藤井徳行

百花繚乱の温かい春を迎え、過ぎし厳冬の遺産も忘れ去らんとせし今日この頃であります。教区の皆様方にはご法耕に余念のないこととお慶び申し上げます。さて本日は、さる三月十三日(火)に行われました平成十八年度 備後教区定期教区会のご報告をさせていただきます。

この教区会では平成十九年度の五つの予算案と平成十八年度の災害対処費追加更正案、二つの区令案及び同意案件が審議され、議決されました。わが教団はご教化第一であります。

布教伝道・組織教化・親鸞聖人七百五十回大遠忌法要円成のために厚い配慮のある予算となっております。災害対処費追加更正は江田島断水支援や平成十八年豪雪見舞い金などの対策経費支出に対するものです。歳入の大半を占める教区賦課金は、各寺の善意の申告による新門徒戸数が基準となつていきます。全国に先駆けての英断でありました。有り難いことです。勿体ないことです。

本山護持口数についても見直しの時期と成りましたが、前回増額となったものについて、今回そのまま現状維持案を同意いたしました。本当にお世話様でした。また、本年は改選の年です。現議員は三月末で任期が終わり、四月から新体制となります。四年間有り難うございました。

これからも共に力を合わせながらお念仏のみ教えを伝え広めてご法義繁盛に勤めたいと存じます。どうぞ宜しく願いたします。

僧侶研修会

【阿満利磨】
元NHK社会教養部
チーフディレクター・
明治学院国際学部教授
著書に「日本人はなぜ無宗教なのか」等。



今年度の僧侶

研修会は二月十四日に阿満利磨先生に「ありのまま」から出発する」という題でご講演をいただきました。昨年に続いてのご講師でありましたが多数の参加をいただきました。ご講演の内容は初めに宗教として、浄土真宗の価値は「ありのまま」救われる喜びがあるという点にあると述べられました。他の宗教では、救われるためには、何かを要求されるという点が大きく違っていることにある、と述べられました。

そしてつぎに僧侶の心構えとして、浄土真宗の僧侶は、僧侶でありながら在家であると自覚し、その在家の立場に立って在家の人たちに接する必要があるのではない

であろうかと、述べられました。そこで、高木顕明師の「余が社会主義」を採り上げられました。

そして、そこに弥陀の救いの目当ては、平民である。また南無阿彌陀仏は、平等の救い、平等の幸福、平和や安慰を意味していると、解かれていた。そして、弥陀の呼び声に私達は力と命を与えられていると解かれておりました。

そこで、そこから、阿満利磨先生は弥陀はあらゆる区別・差別を乗り越えていると述べられました。

そして、高木師が最後に親鸞聖人のご消息をとりあげられ「世の中安穩なれ、仏法弘まれ」というところを引用しておられます。

ここで大遠忌のテーマに「世の中安穩なれ」とポスターにはあるけれど、阿満利磨先生は続きの「仏法弘まれ」ということを考えなくてはならないと述べられました。

そして最後に、やはり僧侶は在家であるというところから出発し、寺院活動をすすめるべきではないだろうかと述べられました。

私たち僧侶の心構えを教授いただきましたが、これからは、自分なりに自らの行動に反映できればと思います。

住職在職30年表彰(敬称略)

奥	光伝寺	大塚 泰玄
深津	光行寺	苅屋 浄影
深津	光善寺	苅谷 隆司
沼隈南	西光寺	箱田 義秀
神石	正善寺	熊原 卓史
神石	光福寺	佐武 健章
御調西	正明寺	沼隈 真澄
世羅	了安寺	阿部 司公

日時 11月30日(木)
 会場 本願寺備後会館
 講師 布教団連合総団長補佐
 榎崎 正道 先生
 講題 ふかきみのりにあいまつる
 法要 日中 初夜礼讃
 速夜 奉讃大師作法第1種
 出勤 中組・御調西組
 参詣数 103名

左記の通り勤修されました。

本願寺備後会館 報恩講

遠近各地より多数のご参詣
まことにありがとうございました

住職在職50年表彰(敬称略)

芦田	光円寺	小倉 大我
----	-----	-------

90歳僧侶表彰(敬称略)

鴨川	金蔵坊	岡田 良子
沼隈西	来福寺	秋月 マサエ
世羅	興学寺	覚王地 光代



写真は講師の榎崎正道先生



《仏壮連盟 総会・研修会》
 日時 三月四日(日)
 会場 本願寺備後会館
 講師 菊池 慈峰 先生
 中央基幹運動推進相談員

「講師は奥組 浄福寺住職の山下義円先生をお迎えし『大遠忌に向けて会館参与の責務』という講題でお話頂きました。幹事会・総会では会館の会計報告、参与の増員について協議がありました。」



三月六日(火)本願寺備後会館において、二十五名の会館参与の皆様にお集まり頂き、午前中には参与会の幹事会、午後から総会・聞法会が開催されました。

参与会 総会・聞法会

テーマ
 【ともにいのち かがやく世界へ】
 ~基幹運動の願いから 仏教壮年活動へ~

会員五十五名の参加のもと平成十九年度教区仏壮連盟総会・研修会が行われました。まず、午前中に中央相談員の菊池慈峰先生にお話いただきました。昼食後、総会にて事業報告・決算並びに事業計画・予算について承認をいただき、役員改選にともない新理事長に石井輝美さん(深津組 正福寺仏壮)並びに新たな役員が選出されました。(新役員名は次号にて)

仏壮連盟 総会・研修会

布教団結成五十周年記念誌

布教団結成五十周年記念誌 『伝道』の発刊を終えて

～資料不足の裏にあるもの～

布教団に対する消息

そもそも 布教は常門の生命であり、仏法興隆の基であります。わが宗門に於いては、さきに布教団を設けて布教の振作につとめたのが、時勢の急激な変化によってやむを得ない組織を解消し、今日に至ったのであります。今や再び、宗門本来の使命は強固で、全国各教区に布教団を結成し、教化活動の中心体として正法の頭場を推進することになったのは、まことに喜ぶべきことではあります。

思うに、布教の本義は無辺の仏徳を普くし、普く如来の大恵を宣する事にあります。大悲の如く、おのずから正しい信仰の生活が確立され、ひいてはうまわしい社会の実現を期待することのできるものであります。

されば、苟も布教のことに従うものは、先ず自ら祈り如来の本願を聞信して広大の仏恩を仰ぎ、仏弟子の本分にかかりなりて自ら修行をつとめ、ともに、常に相戒の別務を尊んで法戒の戒止を怠らぬ、普般の教養を修めて時機相應の流通を工夫すべきであります。

願くは団員各位が、深く思いをこらに受け、相寄り相扶けて大恵化の大任を果し、以て正法の弘道に努めらるよう、切に念願するところでありませぬ。

昭和二十六年七月六日

北谷門主 教 勝 如

(記念誌 巻頭部分)

た、布教団に対する消息(昭和二十六年七月六日発布)からも明らかのように浄土真宗の教団活動の中心は布教であり、伝道であります。

にもかかわらず、布教に関する資料は本山にも教区にも少なく、教団の布教使の歴史をまとめたものもありませんでした。

その意味でも今回の出版は教区はもちろん教団にとっても資料価値の高いものとなるでしょう。

特別寄稿の故武藤幸久先生もご指摘下さっています。資料が少ない時代は師弟を重んずる説教師集団的布教使の存在が色濃く活発な布教活動が展開されていたようであります。

取材中、先輩布教使の中には、決して原稿を書かないと程まで決める、など今から思えば破天荒な一面の話も聞

かれました。善し悪しは別として先輩布教使のご苦労と布教伝道への情熱が伝わってくるエピソードであります。一口に五十年、半世紀と言いますが、布教使だけが作る歴史ではありません。

教区内寺院とお同行の方々あつてこそ積み重ねられた五十年であります。

歴史の批評や批判は簡単であります。その時代や社会環境の中で心血を注いだ布教使のご苦労と情熱を我が身とすることは至難であります。

資料不足をマイナスに受け止めるのではなく、資料を残さなくてもいい、あるいは残すことまで考える余裕のないほど、情熱をもった布教使の存在を感じ、それを今後の布教活動の血肉としていくことこそ、今回の記念誌『伝道』の発刊であつて欲しいと願うものであります。

(編集委員)

冊子に少し余裕がありますので、ご希望の方は事務局まで。

布教団だより

深津組常例線会所住職との懇談会 並びに
部門別・基幹運動研修会・臨時総会を行う

二月二十六日(月)、本願寺備後会館において
深津組常例会所住職との懇談会が行われました。
懇談会では常例線が一層充実したものとなるよ
う、様々な意見・要望などが交わされました。
続いて翌二十七日には、同会館において部門別
・基幹運動研修会・臨時総会が開かれました。



このたびは午前・午後を通して
「過疎過密問題と布教伝道方法」
について、教学伝道研究センター
常任研究員の葛野洋明先生並びに
同研究員助手の長岡岳澄先生から
ご講義いただきました。



Jodo-Shinshu Studies and Research Center

過疎過密化が進む状況のもと、これからの布教伝道方法の事例案など提示していただき、参加者と共に意見を交えながらの研修会となりました。

臨時総会では次年度の予算審議と副団長の選出が行われ左記の通り新副団長が選出されました。

副団長

- 沼隈南組 南泉坊 岡部正顕
- 三次組 円勝寺 薮 晃尊
- 世羅組 円超寺 法正良映



2007(平成19)年度

深津組常例線
奉仕布教
会館常例布教

講師一覽表

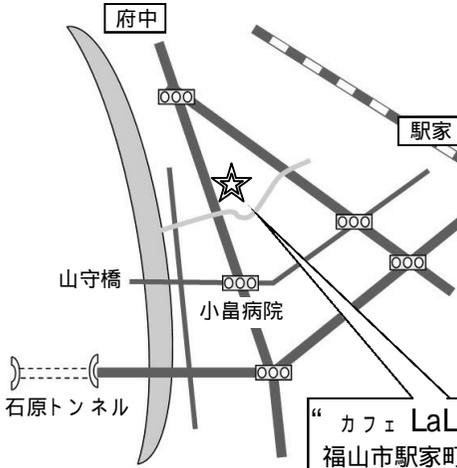
月	組名	寺院名	お名前
2007(平成19)年4月	沼隈南	善行寺	山本 耕嗣 師
5月	沼隈南	光源寺	北山 祐章 師
6月	鴨川北	照専寺	佐々木至成 師
7月	三次	源光寺	福間 玄猷 師
8月	御調西	専福寺	佐々木忠義 師
9月	比 婆	西教寺	藤井 義英 師
10月	沼隈南	光林寺	天地 秀顕 師
11月	鴨川	正覚寺	竹政 信至 師
	世羅	円超寺	法正 良映 師
12月	世羅	浄楽寺	栗原 一乗 師

2008(平成20)年1月	世羅	善行寺	真澄 慎一 師
2月	深津	光円寺	平山 智正 師
3月	鴨川北	円福寺	三條 義見 師

三回目の環境問題現地学習会
「ゴミ処理問題について学ぶ」

基推第一部会では今年度の環境問題現地学習会を、去る二〇〇七年三月八日、福山市「ゴミ固形燃料工場」ならびに「カフェ・LaLa」にて現地学習を行いました。

参加者は十名。はじめに「福山市ゴミ固形燃料工場」にて可燃ゴミの固形燃料化の技術を見学し、そのあと「カフェ・LaLa」にてNPO法人e&g研究所の村田民雄さんから、夢のゴミ処理とわたれた固形燃料工場の実態や問題点についてお話いただきました。



「カフェ LaLa」
福山市駅家町江良 418

TEL 084-976-6999



福山市ゴミ 固形燃料工場

ゴミ処理を取り巻く新たな事実には気が付かれ、深く考えさせられる学習会となりました。「カフェ・LaLa」には福山市内ではまだ珍しいペレットストーブ（教区報二二二号掲載）が置かれております。ぜひ一度、足を運ばれてはいかがでしょうか。

ご消息披露 全組終了

二〇〇六(平成十八)年十一月二十日(月)、鴨川組での「親鸞聖人七五〇回大遠忌についての消息」披露・記念法座の実施をもって、同年五月二十七日(土)から始まった、教区内十六組全組においての披露・記念法座は御満座を迎えました。これにより全組で親鸞聖人七五〇回大遠忌についてのご消息拝読・主旨演達・記念布教・話し合い法座が行われたことになり、二〇〇一(平成二十二年)四月九日より修行される大遠忌へ向けて、いよいよ本格的に始動することになります。

タリー映画「A」上映

昨年十月三十日、みよしCCプラザで開かれた平和のつどい終了後、講師の森達也さんを囲む席でご本人監督作品のドキュメンタリー映画「A」をみんなで鑑賞する研修会を開催したいという希望をいただき、去る二月二十日(火)、会館を会

場に基推第一部会主催による上映会が実現しました。この作品は、オウム真理教を通して「宗教とは何か」という問題を私たちに投げかけています。森さんの冷静で中立なまなざしに自己を相対化しながら「正義」「真実」を考えていくことの大切さを学ぶことのできた上映会となりました。

ボーモリーズ 病院訪問

去る十二月十八日(月)、福山市三吉町三愛病院にて、寺族婦人女性合唱団ボーモリーズが5回目の病院訪問を行いました。恒例となりつつある中、今回は新しくデイケア病棟での歌の披露となりました。昔懐かしの歌謡曲を中心に、美しい二部合唱を披露し、最後は患者の皆さんと一緒に歌って、なごやかなひとときを過ごしました。



☆おもちやサロン☆

ビハール
備後会長
桜田淑子

「ビハール備後は今年度から「おもちやサロン」を始めました。

死・苦しみは、いつ誰の上を訪れるかわりません。ご病人や高齢者などだけではなく子どもたちも若い人たちも、みんなビハール(やすらかに)の対象者です。

みんなが生きる喜びを実感し、それを「み仏さまの願い」と受け取らせて頂きながら暮らすことができようように、その活動の一つとして、「おもちやサロン」を教区若婦人研修会の「チャイルドコーナー」(託児所)を開き、研修の手伝いをさせて頂きました。

担当したビハール会員は、教区仏婦連盟の元役員であった人たちです。

前期の研修会(七月二日・吉舎明覚寺)には三十六人、後期(二月十八日・本願寺備後会館)には十二人の子どもの皆さんが集まり、塗り絵・本読み・ボール遊び・紙芝居・折紙・おもちやなどで遊んで頂きました。

開会式や閉会式で、小さな手を合わせ礼拝している子

どもさんたち、ご仏前で「いのちをみつめる」勉強をされたお母さんたち、みなさんみ仏さまに見守られる安らかさ・嬉しさを味わわれたのではないのでしょうか。

み仏さまに遇われたこのひとときが、これからの人生の原点になりますようにこの日の思いが持続しますようにと願っています。



ニセモノ 鑑定士にご注意!!

福山市を中心に仏像を販売してある業者が、浄土真宗の門徒をたずね、仏壇のお木像を鑑定しては、「お宅の仏像はニセモノです、後光の数が

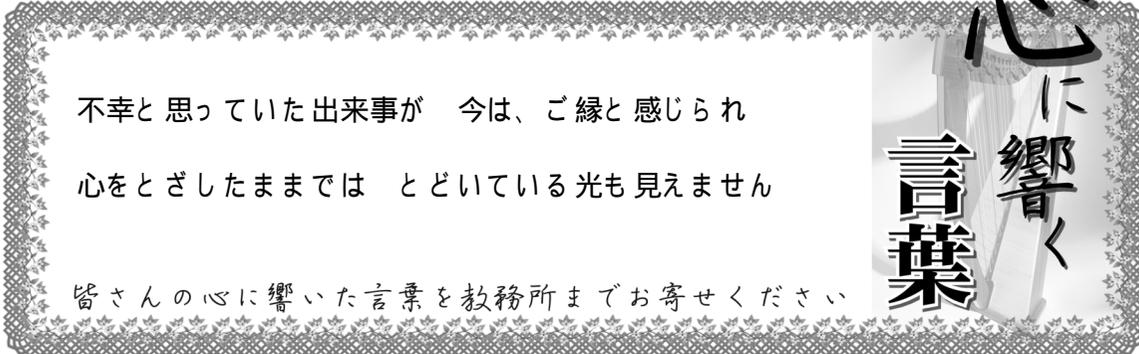
残念ですが、これはニセモノですね、今までニセモノの仏様に手を合わせておられました。

違う、船形が違う等」と言い、高額なお木像を販売しています。ご本尊のお木像は参拝志納部にて仏師が木仏点検をおこなっております。本願寺に携わる仏師がご門徒を訪ねてお木像を鑑定することも、お木像を販売することもございます。ご注意ください。何かございましたら教務所(勤式指導員)までご連絡下さい。

2007(平成19)年度 勤式研修会・練習会のお知らせ

4月26日	10:00 ~	練習会(会館)
5月21日	15:00 ~	練習会(会館)
6月1日	10:00 ~	練習会(会館)
6月18日	午後	北部練習会(会場未定)
7月6日	14:00 ~	春期勤式研修会(会館)
9月7日	15:00 ~	練習会(会館)
9月11日	午後	北部練習会(会場未定)
10月5日	15:00 ~	練習会(会館)
10月22日	14:00 ~	秋期勤式研修会(会館)
11月26日	15:00 ~	練習会(会館)
2月8日	15:00 ~	練習会(会館)
3月7日	10:00 ~	練習会(会館)

変更の場合は改めてご連絡いたします。



不幸と思っていた出来事が 今は、ご縁と感じられ
 心をとざしたままでは とどいている光も見えません
 皆さんの心に響いた言葉を教務所までお寄せください



11月

- 2日 秋期勤式研修会
- 6日 仏婦連だより取材(世羅組光源坊)
- 11日 会館常例法座(苅屋光彰師)
- 14日 第52回ブロック仏婦大会(安芸)
- 15日 門推世話人会
- 17日 三谿組ご消息披露(照善坊)
- 18日 仏壮活性化協議会
- 20日 鴨川組ご消息披露(金蔵坊)
- 20日 勤式練習会
- 24日 組長・組相談員研修会
- 9日 IT専門委員会
- 28日 仏婦おみがき
- 30日 会館報恩講

12月

- 6日 仏婦基幹運動研修会
- 11日 会館常例法座(長谷川憲章師)
- 21日 組長会
- 22日 憲法についての学習会
- 25日 不二川総長就任祝賀会
- 28日 午後より宗務納め(1月6日まで)

1月

- 11日 会館常例法座(那須英信師)
- 30日 ビハラ研修協議会

2月

- 1日 寺婦勉強会
- 2日 同朋三者懇話会(尾道)
- 5日 会館休館日(6日まで)
- 8日 組長研修旅行(四国 9日まで)
- 11日 会館常例法座(堤 有年師)
- 14日 僧侶研修会
- 18日 仏婦若婦人後期研修会
- 19日 勤式練習会
- 20日 ドキュメンタリー映画「A」上映研修会
- 22日 矯正教化管区支部研修会(安芸 23日まで)
- 26日 深津組常例会所住職懇談会
- 27日 布教団部門別・基幹運動研修会・臨時総会
- 28日 常備会

3月

- 1日 連区教化連絡協議会(山口教区 2日まで)
- 2日 会館責役・総代会
- 4日 仏壮総会・研修会
- 5日 連区ビハラ連絡協議会(安芸 6日まで)
- 6日 参与会幹事会・総会・聞法会
- 7日 基推総会
- 7日 同朋講座
- 8日 環境問題現地学習会
- 11日 会館常例法座(吉岡隆義師)
- 13日 教区会
- 26日 組長会
- 28日 子ども大会・ウォークラリー(南禅坊)

4月

- 11日 会館常例法座(山本耕嗣師)
- 13日 仏婦総会・研修会
- 20日 教区会
- 26日 組長会
- 24日 寺婦若婦人研修会(沼隈西組善性寺)

5月

- 9日 ブロック少年連盟連絡協議会(四州 9日まで)
- 11日 会館常例法座(北山祐章師)
- 14日 ブロック保育連絡協議会(備後 15日まで)
- 17日 門徒総代会世話人会

6月

- 11日 会館常例法座(佐々木至成師)
- 14日 寺婦総会・研修会
- 18日 同朋三者懇話会(備後)
- 20日 布教団総会・研修会
- 21日 夏期布教大会
- 27日 ブロック少年連盟指導者研修会(四州 28日まで)
- 30日 連区門推研修協議会(備後 7/1まで)

7月

- 6日 連区布教使研修会(四州 6日まで)
- 8日 仏婦若婦人研修会
- 11日 会館常例法座(福岡玄猷師)
- 21日 まこと保育大学講座(備後 22日まで)

教区の主な行事並びに担当ブロック(連区)行事のみ掲載しております。

今後の予定

得度許可

おめでとう
ございます!!

(敬称略)

中組

徳善寺
後谷 弥佳 (弥佳)

深津組

正善寺
藤井 教証 (教証)

御調東組

尊光寺
武田 祐俊 (祐俊)

(平成十八年九月十五日付)

深津組

光蓮寺
西田 稔 (護法)

(平成十八年十一月十二日付)

教師授与

おめでとう
ございます!!

(敬称略)

世羅組

真行寺
是山 覚然 (覚然)

(平成十八年九月二十九日付)

奥組

永宝寺
前田 徳昭 (徳昭)

深津組

専明寺
原田 顕照 (顕照)

(平成十八年十二月十二日付)

敬弔

お悔やみ申
し上げます

(敬称略)

御調西組

善教寺
前住職 小島 文章
(二月六日寂)

比婆組

西林坊
前坊守 森元 正子
(二月七日寂)

沼隈南組

善徳寺
前住職 佐藤 一之
(二月二十五日寂)

世羅組

西教寺
衆徒 松井 誠念
(二月二十七日寂)

御調西組

浄楽寺
住職 石川 剛
(二月二十九日寂)

三谿組

明覚寺
前坊守 不二川 春子
(三月三十日寂)

香典返礼

ありがとうございます

沼隈南組 善徳寺 様

より香典返礼を頂きました。



寺院解散のお知らせ

お知らせ

三谿組安楽寺が、平成十九年一月十一日付解散となりました。ことお知らせいたします。

世のなか
安穏なれ

現代社会と仏教

大谷光真

心豊かに生きることで
世の中をめざして—

西本願寺第24代門主が語る21世紀の日本と仏教

中央公論新社 定価 本邦1200円(税別)

大谷光真 門主著

世のなか

安穏なれ

現代社会と仏教

1,260円 定価

絶賛発売中

三月二十五日に全国書店にて一斉に発売されました。皆様も是非お買い求め下さい。

編集後記

「昔の怪異は、狐狸・妖怪・幽霊などバラエティに富んでいたが、現在はほとんど幽霊が主役」と言う話を聞きました。

言われてみれば、グリーンライオンに幽霊が出る」と怖がる人はいても、「芦田川に河童が出る」と怖がる人はいません。妖怪を「非科学的」と一笑に付す人が、枕元に立つ故人の夢に震えます。

一般に、我々は科学によつて怪異への恐怖を克服したと思われているようですが、本当にそうでしょうか？

自然の具現化である妖怪は馬鹿にされ、人間の悪意の具現化である幽霊は怖がられる。単に、自然への畏敬の念が失われただけなのではないかと想像します。今、人間にとって一番怖いのは人間なのでしよう。

幽霊は、煩惱に満ち、欲多く、怒り、はらだち、そねみ、ねたむ心などにとらわれて迷っているのだそうです。ところで最近、ちよっと腹の立つことがあります。恨めしや。

M・I